

明神ヶ岳

実施日 二〇〇七年十月十三日(土)

天候 晴れ

リーダー 馬場 清士

参加者 佐藤金治、一柳昭、山口駿三、山崎富美恵、鈴木恵美子、木内倫子(ゲスト)

会員六名 ゲスト一名 計七名

費用 交通費 3,500円

コースタイム 新松田駅(八時五十分)九時タクシー(道了尊)九時二五分、九時三〇分(明神ヶ岳見晴小屋)一〇時三〇分(神明水)十一時(明神ヶ岳)十二時十分、十三時四〇分(明星ヶ岳)十五時五分(登山口)十六時二〇分(宮下駅)十七時、十七時一分(箱根湯本駅)十七時三〇分



道了尊の山門近くでタクシーを降り歩き始める。赤い巨大な和合下駄の横から杉林の中をジグザグに登っていく。見晴らしはないが、周辺には杉の巨木が見られる、何年位経っているのだろうか・・・植



霧っているが、わずかに小田原方面の町が覗える。植林帯を抜けると、草原の防火帯の登りが続き、一面すすきの原でとても気持ちがいい。暫く行くと、一年中涸れないという神明水が出ている、ここで小休止を取り、さらにすすきの原を行くと丹沢方面の展望が開けてくる。明星ヶ岳の分岐を過ぎ、急坂をひと登りすると明神ヶ岳山頂にでる、山頂は広く多くのハイカーが、思い思いに休憩をとっている。金時山の向こうに富士山が顔を出し、神山、駒ヶ岳、一子山、愛鷹山系、丹沢山系も見える。大涌谷の噴煙も良く見える。



明神ヶ岳から少し戻り尾根筋を明星ヶ岳へ向かう。右手に大涌谷や強羅方面を望みながら、笹原を行くと明星ヶ岳であるが、標柱のある平らな所なので、うっかりすると見落として通り過ぎてしまいうさである。宮城野の分岐まで戻り、急坂を暫く下ると、大文字焼きの場所に出て、箱根外輪山や強羅の町が一望できる。なおも急な樹林帯のジグザグを下りきると舗装された登山口に出る。別荘地を抜け宮城野に下り、道路の渋滞を予想して、箱根駅伝の行われる1号線を、箱根登山鉄道の宮ノ下駅まで歩き電車で箱根湯本に出た。天気にも恵まれて楽しい一日でしたが、紅葉が殆ど見られなかったのが少し残念でした。参加された皆さんお疲れさまでした。

(記 馬場 清士)